

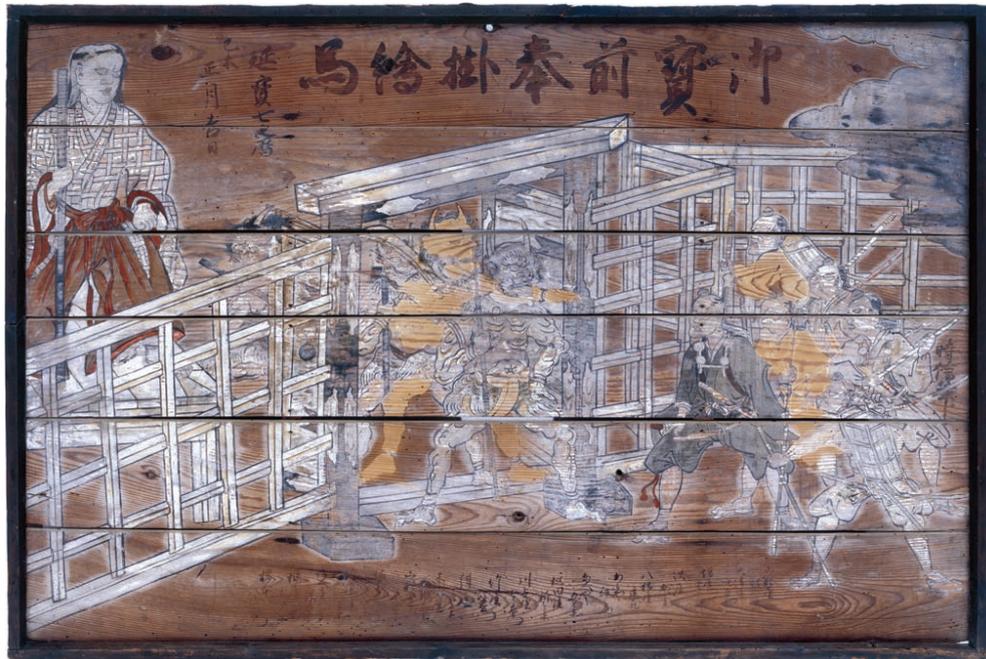


国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

vol. **11**
2012.5.1



長谷寺絵馬「酒呑童子征伐図(延宝7年)」

C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ
「米山梅吉記念館訪問記」
- 3 地区雑誌・広報委員長会議報告
東日本大震災義援金報告
- 4 第5回諮問委員会報告
- 4~5 我がクラブに この人あり
- 6 境港RC創立50周年式典
- 7 出雲南RC創立40周年式典
- 8 第7グループIM報告
- 9 第6グループIM報告
- 10~11 地区だより(3月)
- 12 出席報告(3月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
国際ロータリー会長 **カルヤン・バネルジー**

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2011-2012年度ガバナー **伊藤 文利**

【お詫びと訂正】 月信4月号(Vol.10)に下記の誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

p5 左列・上から4行目

[森田ガバナー・エレクト事務所より報告事項]

→ [森田ガバナー・エレクト事務所より協議事項]



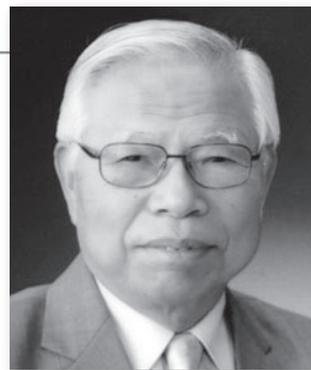
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナーメッセージ

米山梅吉記念館訪問記

国際ロータリー第2690地区ガバナー

伊藤 文利



1: 米山記念奨学会評議員会 この度、米山奨学会は正式に公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と衣替えをしました。先日、今年度前半の民法法人時代の事業報告、財務諸表等を主な議案とする評議員会が開催され、審議、承認後会議は終了し、続いて恒例の意見交換会に移りました。主な論点は米山奨学生に占める中国人留学生が多すぎる、この是正が必要だ、その方法は如何に、採用したい国々にこちらから出かけ現地採用の留学生を選考する、日本語検定資格を緩める等の意見が出された。この事実はこの地区でも中国人米山奨学生が多数を占め、その解決に頭を悩ませている現状を浮き彫りにしています。今回の新制度移行で各地区から選ばれた理事と評議員の役割が明確にされました。即ち、理事は業務執行者、評議員は内部統治の中核を担う最終意思決定者として住み分けされ、夫々が以前に比べ重大な責任を負う事になりました。私は地区推薦の評議員を務めますが、今後、与えられた職責を全うし、米山記念奨学会の目標達成に少しでも貢献したいと考えています。

2: 米山梅吉記念館 ロータリーを知り、米山奨学生、米山梅吉の事などを学ぶに付け、一度は三島市の米山梅吉記念館を訪れ、この目で米山梅吉を偲びたいと考えていました。何十年振りに東海道線快速に乗り、品川から途中乗換え2回、約3時間で三島駅に到着。はるか西方に運良く霊峰富士がくっきりと浮かび、その神々しさに何とも言えない感動を覚えました。車で数分、やがて瀟洒な建物が見えて来ました。2階建ての円形建築、1階は事務所と数十名収容のホール(地元の長泉RC例会場)、2階は米山梅吉の生涯を夫々の年代に分けて、関係の深い物、人などと組合せた内容の陳列室が並んでいました。幸運にも同館女性事務職員の親切なご案内で隈なく館内外を鑑賞できました。彼女は米山梅吉の事だけではなくロータリー全般の知識が実に豊富で、巧みな説明によりロータリーの歴史や彼の人脈などを再確認しました。最初の部屋の入口両側に彼の胸像とポールハリスのそれが相向かいで見つめあっている光景に接し、私は畏怖の念を強く感じた次第です。その上、日米の



米山梅吉記念館前

ロータリー創立に関わった両者は生年月日、死亡時期までが殆ど同じである事を知り、さらなる親近感が湧きました。その後、彼を顕彰する付属

建造物、植樹等を案内して頂き、彼の偉大さを体感したところで、後ろ髪引かれる思いで記念館を辞去しました。

3: 第2650地区大会 3月末の週末は公務が無かったので、東京からの帰途、第2650地区(京都、滋賀、福井、奈良)大会に出席しました。当該地区は日本で2番目の会員数(現在4660人)を誇り、我が地区と同様、パイロットに選ばれ、その活動は日本ロータリーを常にリードして来た歴史と伝統を有する地区であります。今回の大会参加登録数2800人強とさすがに都会は違うなと思いました。しかし、我が地区大会と比較した時、こちらの大会は大きいだけに小回りが効かなく、色々な面で不便さを感じ、私達の地区大会がどれだけ参加者配慮の接遇をしたか、懐かしく、誇りに思った次第であります。まず、RI会長代理歓迎晩餐会の豪華さにドギモを抜かれました。豪華さはご馳走ではなく、京都を代表する舞妓、芸妓その他30数名の勢揃い、お祝い三番叟で幕開け、それが終わると彼女達は我々お客の側に来て、接待に一生懸命努める姿でありました。2日目の大懇親会には50名以上の舞妓が1700名以上の会員接待に当たる光景を再び見て、これぞ京都だと強く感じた次第であります。大会構成も



渡辺PGを見つけて

我々のそれと大きく異なり、文化の違いを知りました。ただ、安藤忠雄氏の特別講演だけは感動的であり、これだけでも参加した甲斐がありました。

地区雑誌・広報委員長会議報告

「ロータリーの友」地区代表委員
地区雑誌・広報委員長
馬野 慎一郎

4月の雑誌月間を間近に控えた3月17日(土)、倉吉市交流プラザにて地区内の雑誌・広報系委員長対象の雑誌広報委員長会議を開催しました。冒頭に伊藤文利ガバナーより「ロータリーの友」がRI地域雑誌として優れた編集構成がなされており、購読を推進することでロータリーについて学び、広報に役立てようというご挨拶を戴きました。

前段では講師として「ロータリーの友」編集長の二神典子氏をお迎えし、『公共イメージと「ロータリーの友」と題した講演を伺い、参加者は地域雑誌の意義や著作権、公共イメージ向上のための具体的事例等について学びました。質疑応答の時間には幾つかの熱心な質問が編集長になされ、参加者の関心の高さがうかがえました。

また、各クラブに回答いただいた事前アンケートに基づく『「ロータリーの友」により親しんでいただくために』という地区雑誌広報委員長の発表時間では、地区内各クラブの「友」誌購読推進状況が報告され、熱心に購読を推進されている浜田RCと松江東RCの事例発表を含めた具体的な購読推進のための提案がなされました。

第2690地区の「友」誌への投稿数は全国トップレベルにあります。これは各クラブで購読推進のための行動がなされている一つの表れでもあります。今後も各クラブでの地元に対する広報活動の推進とあわせて「友」誌を多面的にご活用いただくよう宜しくお願い申し上げます。



東日本大震災義援金報告

「平成の森コミュニティセンター(仮称)」の提供について

宮城県南三陸町へ談話室と図書館機能をもった「平成の森コミュニティセンター(仮称)」を提供するプロジェクトに対し、各ロータリークラブから130万円ものご篤志をいただき、ありがとうございました。

この他に第2780地区、第2520地区より各300万円、東日本震災復興基金日本委員会より500万円と第2690地区からの拠出、等により総額1995万円で、4月から何とか着工の運びとなりました。

みなさまへ厚く御礼を申し上げます。

表紙・長谷寺絵馬 酒呑童子征伐図 延宝7(1679)年 縦110.0cm×横167.7cm

丹波の大江山に棲む鬼神「酒呑童子」退治のため、山伏姿に変装した源頼光とその四天王、渡辺綱・坂田金時・碓井貞光・卜部季武らに藤原保昌を加えた6人が、童子の隠れ家に到着した、畏れと緊張の一場面を描きます。屋敷の縁側に立ちほだかる大男が酒呑童子です。近世の浄瑠璃・歌舞伎の人気演目となる武勇伝でした。

室町時代の戦記物語である『太平記』に、源頼光が童子を退治し

た「童子切安綱」は伯耆国の大原の刀工、安綱が作ったとあります。この絵馬は、平安時代の伯耆古鍛冶一安綱を倉吉町人が顕彰したものとイえるでしょう。

名剣は、源平両家の宝剣として代々伝えられ、今は国宝として東京国立博物館に保管されています。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第5回諮問委員会 報告

日 時：2012年4月7日(土) 16:40~17:50
会 場：ホテル日航倉敷

《協議事項》

1. 地区ロータリー財団事務所資金について
(地区ロータリー財団事務所)

《報告事項》

◇ガバナー事務所

1. 2011-2012年度 RI各賞への応募状況について
2. 東日本震災復興支援プロジェクトについて
3. VTT資金について
4. RI国際大会(バンコック)参加状況について
5. R財団奨学生選考結果について
6. パスト・ガバナー会 収支会計報告について
7. 今後の行事予定について

◇地区ロータリー財団事務所

1. 2011-12年度 新地区補助金プロジェクト実施報告について
2. 2012-13年度 新地区補助金プロジェクト申請状況について
3. DDFの現状について

◇ガバナー・エレクト事務所

1. 2012-2013年度 地区委員会組織図について
2. 次年度行事予定について
3. 地区目標について
4. 公式訪問予定(案)について
5. 地区協議会プログラムについて
6. 月信完全電子化に向けてのアンケート調査報告
7. 会議におけるパワーポイント資料の作成について

◇ガバナー・ノミネー事務所

1. 事務所開設について

我がクラブに この 人 あり



総社RC

難波 道子

難波道子会員は、平成6年3月小学校長を退職され、平成8年11月「詩人」として入会されました。筆名「なんば・みちこ」会員は、在職中から詩の活動をされており、特に詩集『とんと立つ』は、障がいのある子ども達の純粋な気持ちや子ども達への想いがつづられており、多くの皆さんに感銘を与えました。その後も、『高梁川』『緘IKI』『おさん狐』『伏流水』『下弦の月』等、多くの詩集を発刊されました。また、学術文化向上の功績により、平成5年「聖良寛文学賞」をはじめ、「丸山 薫賞」、「山陽新聞賞」「県文化賞」等数々の賞を受賞されました。さらに、H氏賞や日本詩人クラブ賞の選考委員、平成15年には岡山県詩人協会会長、中四国詩人会理事をはじめ、多くの役職を歴任されています。ま

た、平成14年より、総社市教育委員を務め、平成19年度、平成22年度には教育委員長を歴任されました。平成21年11月、数々の功績により、「瑞宝双光章」を受章された現代詩人の第一人者です。ロータリー入会後も、幹事や各委員の要職を務められ、会の発展に尽力されました。

今後、市・県・国の文化の向上のため、お元気で活躍をと会員一同願っています。

総社ロータリークラブ 栗田 交三



我がクラブに この人 あり



高梁RC

仲田 永造
(小児科医)

1998年、プノンペン空港に降り立ち、市内までの道端の風景を目にした彼はショックを受けました。街路灯もなく薄暗い中でバラック建ての屋台に群がる人々、無造作に放置されたゴミの山、素足に裸同然の子供たち、戦後間もない日本の光景がそこにはありました。

翌日、プノンペンから60 Km離れた圓山小学校の開校式に参加し子供達の「勉強できる事の喜び」そして、「瞳の輝き」に魅せられカンボジア支援の道が始まりました。その人こそ「ミスター・カンボジア」の仲田永造会員です。

彼なくして高梁RCのカンボジア支援はここまでの発展はなかったと思います。帰国後里親制度の立ち上げに力を注ぎ、多くの支援者を得て今日まで数多くの里子が巣立って行きました。1996年にはWCS支援事業の中心的な役割を担い、ハード面の支援、また現地教員の日本での研修等ソフト面の支援も行って来ました。還暦を数年前迎えられましたがまだまだエネルギーギッシュです。これからも我々を引っ張ってください。

高梁RC 会長 川崎正志



玉島RC

柏原 博

私は、生まれも育ちも朝鮮です。戦後引き上げるまでの22年を過ごした事が、後々私の人生観を築いたことは、否めません。今でも思い出されることは、中学時代に上級生から学校に放火しろと命じられた事(未遂に終わる)。我家で飼っていた馬が狂犬病に罹り獣医の手により薬殺された事。その後、戦争が激しくなり私たち家族は、命の危険を感じながら、どうにか日本へ引き上げる事が出来ました。帰郷した時、実家には祖母が一人だけ住んでいましたので、その家に落ち着きましたが、父は、胃がんを患っており朝鮮より持ち帰った金品は、その治療代に消えていきました。また、帰郷の挨拶の為に父と一緒に親戚の家に挨拶に行くと「米の五升もやっどけ」の言葉に父は立腹この上もなし。まるで乞食扱いでした。引揚者同士の話によると皆同じよう

な扱いを受けたそうです。このような仕打ちをされながらも、家族皆で、貧しくても手を取り合いながら生き抜いて来ました。

このように、戦中戦後の経験が私の人生観に大きな影響を与えたように思います。

人は、みんなで助け合いながら生きていかなければなりません。

これこそが、ロータリーの精神に通じるものだと確信します。これからの人生もロータリー精神で頑張ってください。

ロータリー 万歳!!





境港RC創立50周年記念式典を終えて

境港ロータリークラブ 創立50周年実行委員長

増谷 立夫



境港RCは、昭和37年、米子RCの創立10周年の記念事業の一環として誕生いたしました。

3月6日(火)には、国際ロータリー第2690地区伊藤文利ガバナー、平井鳥取県知事、中村勝治境港市長他多数の来賓をお迎えして、メンバー、同夫人計80名のもと盛大かつ厳粛の内に行われました。

式典の始まりに、メンバー手作りによるスライドで誕生から今日までの奉仕活動、記念行事、親睦活動等、懐かしい写真で50年の歩みを紹介しました。続いて庄司尚史会長は「市内唯一のクラブとして、地域社会の発展に役立つクラブ、青少年の健全育成に努力された先人のご苦勞に感謝し、50周年を一つの節目とし100周年を目指してさらなる努力を続けます」と決意を述べました。

伊藤文利ガバナーより、野球大会、バレーボール大会等、青少年の健全育成のためのプログラム、境港水産祭りへの協賛、弓ヶ浜半島の黒松保存事業への参加など一緒に汗を流す活動は、敬意に値すると祝辞を頂きました。又、そろそろガバナーを輩出していきたいとの大きな宿題も頂戴いたしました。その後、平井知事、中村市長から温かい励ましの祝辞を頂きました。

次に私より3つの記念事業の発表を致しました。

1. 記念講演は1月22日(日)に終えており、講師に、前北海道日本ハムファイターズ監督、梨田昌孝氏で「信頼しよう、任せようー長所を見抜いて個性を伸ばせー」の演題のもと、17年の現役生活、コーチ、監督と指導者時代の苦勞話、経験談は興味あるお話で、老若男女400名の聴衆は満足そうに耳を傾けておられました。

2. 記念植樹は、豪雪により被害を受けた弓ヶ浜半島の松林を再生する事業で、鳥取県主催の「白砂青松アダプト

プログラム」への参加で、松林が完全復活するまで、継続して奉仕活動する事業です。

3. 地元福祉、ボランティア4団体へ活動支援金を贈呈しました。

- 1) ポリフェリン症の難病指定を目指し活動している「池谷兄弟を応援する会」様
- 2) 障がい者自立支援及び就労支援活動をしている「特定非営利活動法人 お菓子屋くれぱす」様
- 3) 同じく障がい者の就労支援、自立支援を目的に活動している「社会福祉法人 まつぼっくり」様
- 4) 児童養護施設、自立支援ホームなど養育環境に恵まれない子供たちを支援する「ヤッホー!キッズ」様

次にスポンサークラブ、ガバナー補佐へ感謝状記念品の贈呈が行われ、最後にメンバーの模範ともいえる25年以上連続出席会員4名を表彰し、連続出席38年の川端広会員の謝辞で、式典のプログラムを無事終える事が出来ました。尚、休憩時間には、ご夫人方を中心に裏千家淡交会の皆さまによる呈茶席が設けられ、一服の和やかな空間が、出席者に喜ばれました。

記念祝賀会は、渡辺俊裕直前会長の乾杯で始まり、地元の食材を生かしたご馳走に舌鼓をうちながら思い出話に話が弾みました。アトラクションは、出雲市出身のトランペット奏者、熱田修二氏による、名曲の数々の演奏に皆さまを魅了され、大いに盛り上がりました。

内田副会長の閉会の挨拶で、無事終了いたしました。50周年という大きな節目をバネに100年を目指して一歩ずつ、更なる奉仕活動を続け、地域と共に着実に歩んでいきたいものです。

出雲南RC創立40周年記念式典を終えて

出雲南ロータリークラブ 創立40周年式典実行委員長

山内 瑛明



出雲南RCは、1972年(昭和47年)2月4日創立、同月28日にて国際ロータリーへの加盟承認、本年、創立40周年を迎え、去る3月11日(日)当地の出雲ロイヤルホテルにて創立40周年記念式典を開催いたしました。

記念式典のテーマは、「心の絆を深めようー広く深く永く」としました。

開催日は東日本大震災の1周年と重なり、そのことを重く受け止めました。当日の晴天を願っていたものの山陰の3月です。当日は生憎の曇天模様でしたが、ご来賓の皆様をはじめ、姉妹クラブの備前RCから約30名の皆様、第4グループ4RCの皆様、そして、当クラブ会員並びに配偶者の皆様、約200名の方々にご参加いただき、盛大に開催する事ができました。

式典では、当クラブ土井豆勝磨会長の挨拶の後、出雲市

長岡秀人様並びに国際ロータリー第2690地区ガバナー伊藤文利様からご祝辞をいただき、また、備前RC会長吉村武司様からのお祝いの言葉に引き続いて同クラブ会員でいらっしゃいます人間国宝伊勢崎淳様から直接に先生の作品をご贈呈いただきました。

記念事業は、出雲市立出雲科学館へ「65インチモニターテレビ」の寄贈、次世代の環境リーダー育成プロジェクト(実施済み)、「東日本大震災への新たな寄付」、記念講演、記念誌の発刊の5事業を発表しました。

引き続き記念講演に移り、大阪大学大学院教授でいらっしゃいます湯浅邦弘様から「自分を知り他者をいたわる」ー『論語』と日本人ーのテーマで、「己を知る」「人と交わりいたわる」をキーワードとして論語の世界を分かり易くお話いただきました。

休憩後の祝賀会では、インターアクトクラブを有する出雲北陵高等学校マーチングバンドの華麗なオープニングの後、葛尾信弘PGに乾杯のご発声をいただきました。ご歓談の最中には、当クラブ40年間の歴史の一コマ、懐かしい場面を皆様にスライドにて見ていただきました。

最後に、第4グループガバナー補佐那須康弘様の万歳三唱でお開きと致しました。当クラブの会員並びに配偶者が当日ご出席の皆様方共々に、より一層の親睦と友情を深めさせていただくことができましたことを感謝いたします。

次なる50周年に向かって益々充実し発展していくことを祈ります。





第7グループIM報告

第7グループ IM実行委員長
倉敷中央ロータリークラブ

木村 充 男



本年度第7グループのIMは、道明道弘ガバナー補佐の下、倉敷中央ロータリークラブがホストを務め、伊藤文利ガバナーはじめ多くのご来賓をお迎えして3月18日(日)倉敷アイビースクエアで開催いたしました。

カルヤン・バネルジーRI会長テーマは『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』です。また、伊藤ガバナーは地区スローガンを『ロータリーは人をつくる』とされ、それをテーマとした勉強会にいたしました。

第1部講演では、親業訓練インストラクター 江崎英子先生をお迎えして「今だからこそ大切な人づくりとは」をテーマにご講演をして頂きその後、道明道弘ガバナー補佐と人間関係・コミュニケーション・人づくりとはなどについてのディスカッションが行われ大変勉強になりました。

第2部基調講演では「自分づくり人づくり広がり行く絆」と題して、木村まさ子先生の講演を拝聴しました。自分づくり・命をつなげる思い・自分の声にだして言う

「いただきます」などのお話に、子供の食育について認識を新たにいたしました。

懇親会では、アトラクション演奏に倉敷作陽大学の卒業生と在校生20名で構成されたグループ"ピクモスパルス"の演奏を聴きながらの会食。途中、演奏者達が場内を各人移動しながらの演奏に、会場中がたいへん盛り上がり、かつてない趣向だったと、お褒めの言葉を頂戴いたしました。他クラブの会員同士の友好も深めることが出来たのではないかと考えています。

最後になりましたが、ご来賓を始め、各クラブの皆様にご心からお礼と感謝を申し上げますIMのご報告とさせていただきます。

第6グループIM報告

第6グループ IM実行委員長
玉島ロータリークラブ
平井 始



日ごと春を感じるようになってきた3月25日(日)に倉敷市連島町にある、ヘルスピア倉敷で伊藤文利ガバナー、井戸垣徹男地区代表幹事をはじめ、多くのご来賓のご臨席をいただき、第2690地区第6グループのIMを開催することができました。

国際ロータリーのテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のもと、各クラブの活動内容を発表し、他クラブの情報を学び、各自ロータリー活動を前進するためと、他クラブとの親睦友情を図ることを目的に開催しました。

基調講演では(財)吉備路文学館館長の遠藤堅三先生に「高梁川流域をめぐる文学のふるさと」という演題で、この第6グループである<備中の国>から輩出された文学者、若山牧水、与謝野寛・晶子、良寛、横溝正史、中塚一碧楼、金光

碧水、阿藤伯海などの文学碑や、作品、人間関係までこと細かく説明していただきました。又身近な場所に文学碑があることや、それらの文学者たちが近所に住んだり、関わっていたことなど、今私たちが住んでいるこの地域<備中の国>のすばらしさを改めて感じさせられ、感激しました。

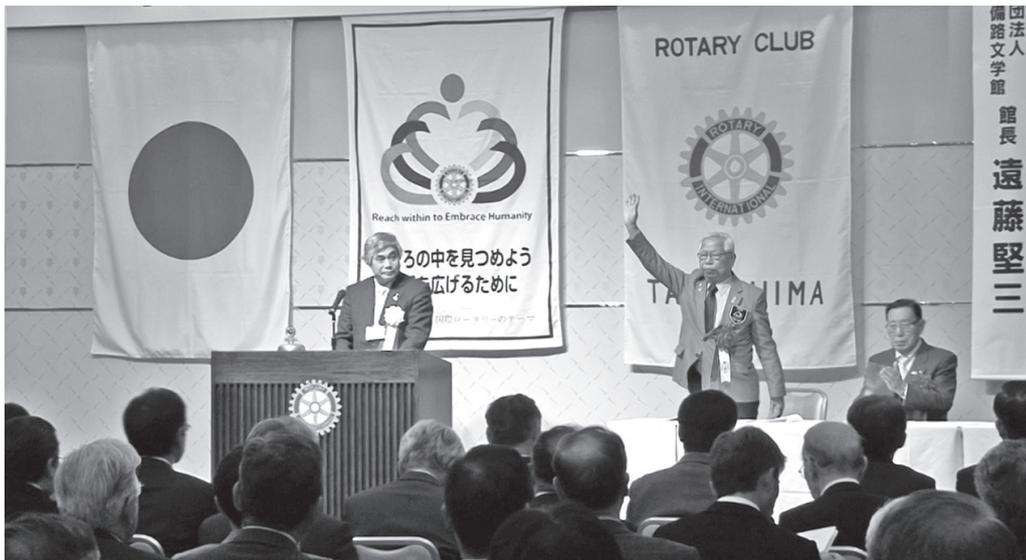
続いて各クラブによる発表に移り、①「会員増強」②「ロータリー財団の支援」③「ロータリーの知名度と公共イメージを高める」④「地域への社会奉仕活動」のテーマで行われました。全8クラブの代表者がそれぞれのテーマに沿って活動の目的、内容、結果、成果などパワーポイントを使用し、たいへんわかりやすく、すばらしい発表がありました。

その後、各テーマについて質疑応答を行い、いま抱えている諸問題、ロータリアンの考え方、奉仕のあり方、今後の夢計画など、活発で誠実な意見が出て、とても有意義な勉強会となることができました。

講評では伊藤ガバナーより各クラブの発表についてお褒めのお言葉をいただきました。

懇親会では地元の作陽大学の卒業生の、音楽家による弦楽四重奏で心を癒していただき、森下和郎パストガバナーの乾杯の後、親睦の時間に入りました。ロータリアンとの友情、信頼、親睦を深めていただきました。最後に全員で「手に手つないで」を合唱して閉会としました。

ご来賓の方々、参加いただいた会員の皆様方に心から感謝申し上げます。





こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

【 地区だより (2012年 3月) 】

(敬称略)

新会員ご紹介



ロータリー財団への寄付

大口寄付者 (レベル4)



延原 正
岡山南RC

メモリアル・コントリビューションへの寄付



岡本博文
倉吉RC

ロータリー東日本震災復興基金



延原 正
岡山南RC

ポリオ・プラスへの寄付



眞木哲之
岡山中央RC



延原 正
岡山南RC

恒久基金への寄付



橋本 讓
倉敷RC



延原 正
岡山南RC



松下光昭
鳥取中央RC



魚谷 純
米子中央RC



信長 充
新見RC



玉田敏明
高梁RC



山本 平
津山中央RC

ベネファクター

ポール・ハリス・フェロー



米山記念奨学会への寄付

米山功労者メジャーダー



桑田育郎
倉敷水島RC



山田梯次
倉吉RC



植木 聡
鳥取中央RC



浜田重喜
鳥取中央RC



田中英教
鳥取北RC



山崎泰弘
児島RC



阪本 均
倉敷水島RC



山本 平
津山中央RC



眞木哲之
岡山中央RC

米山功労者

【 地区だより(2012年3月) 】

(敬称略)

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューションへの寄付

倉吉RC..... 岡本博文が、故母 岡本久江のために
 総社吉備路RC..... 永岡治子が、故夫 永岡幸雄のために
 岡山南RC..... 岩崎増英が、故父 岩崎増修のために

ポリオ・プラスへの寄付

出雲RC..... 256.41ドル

クラブ特別寄付(年次寄付)

倉吉東RC..... 275.64ドル (ミリオンダラーミール)	井原RC..... 4,820.51ドル (財団BOX)	岡山RC..... 884.62ドル (ミリオンダラーミール)
11.00ドル (新入会員寄付)	笠岡RC..... 362.88ドル (ミリオンダラーミール)	岡山北西RC..... 513.10ドル (ミリオンダラーミール、新入会員寄付)
米子RC..... 782.05ドル (新入会員寄付)	倉敷中央RC..... 720.00ドル	岡山北RC..... 610.97ドル (ミリオンダラーミール、新入会員寄付)
松江RC..... 2,423.07ドル (財団ランチ)	倉敷南RC..... 220.77ドル (ミリオンダラーミール)	玉野RC..... 4,358.97ドル
44.56ドル (新入会員寄付)	真庭RC..... 901.00ドル	岡山丸の内RC..... 333.33ドル (ミリオンダラーミール)
松江南RC..... 666.67ドル (ミリオンダラーミール)	赤磐RC..... 673.07ドル (ミリオンダラーミール)	33.64ドル (1人1ドル寄付)
江津RC..... 751.23ドル	156.72ドル (財団BOX)	

年次寄付にご寄付いただいた方々

倉吉中央RC..... 宮本幸人	新見RC..... 尾藤嘉記、遠藤 彰、角川宣行、加谷幸登、加藤清一、木下勝美、小林喜久雄、小林征弘、村上伸祐、森 和子、仲田芳人、中村浩吉、西村 誠、信長 充、阪本司郎、柴田政伸、柴田卓志、鈴木 治、田嶺幹自、富谷修二、横井三男、吉岡 博
米子RC..... 笠岡範之	倉敷中央RC..... 道明道弘、佐々木秀章、平井久嗣、樫 朋宏、木村充男、國政郁哉、小林恭一、難波弘毅、西本克寛、小河原洋子、大熊裕司、白神香織、高山五三郎、寺崎光宣、友田淑子、渡辺洋介、山中祥吉、橋戸登美夫
米子中央RC..... 辻田哲朗、福元儀智、都田修史、鈴木雅美、越河 允、吉田登志子、新井 真、中村暢宏、田端 修、播間和雄、河上 剛、橋本晴人、国頭芳夫、安本辰雄、安部喬樹、高塚建二	真庭RC..... 富坂順也、手島 靖、岡田 暁、福島康夫、牧原三千雄
米子東RC..... 遠藤智美、船田正一、長谷川進、長谷川渉、林 俊一、大場英之、鷺見雄司、丹藤知基、大濱宏一、関 充宏、高田泰司、芦立 久、足立日出男、荒川雄司、藤尾信之、細田耕治、井上博吉、石井敬薫、川端恵美子、木美俊彦、小土井秀明、松本正己、松浪昭二、村上 一平、中山晴文、新納哲雄、野坂裕一、野津一成、坂口紀之、田淵亮達、戸田 忍、内田幸男、植田三男、安井峰男、吉岡朋美、江原 保、井上賢明、楠 明彦、永島清孝、杉原弘一郎、杉本真吾、上森英史、中村剛士	津山中央RC..... 阿形寛昇、有本 稔、有本次男、有宗博志、萩原一雄、初川正子、廣野 學、亀川哲明、加藤園真、國米一朗、前原知明、中西寛治、野井新造、野村昌平、岡田敏文、坂田英輝、鈴木浩三、只友 珩、田口太馬男
松江しんじ湖RC..... 三島通敬、新宮広海、溝本浩二、門脇玲子、中井健之、荒木賀津子、池淵英明、久保田一朗、石倉貞昭	津山西RC..... 高山照輔
井原RC..... 青木 茂、千々木弘道、藤井弘道、藤井良昭、藤原英之、原 浩平、池田純士、石井祐輔、金原光広、片岡良仁、片山辰彦、川井雅樹、川井眞治、河合恭廣、北村博則、小塚一史、黒木立志、久津間茂明、宮地俊則、宮本幸枝、森本允裕、森谷 彰、長尾知之、中島武司、西野 昇、落合清三、小田春人、小田健司、小田皓二、岡崎道三、大西正隆、佐藤政夫、佐藤典子、佐藤利範、妹尾孝一、滝本 博、田中勝人、田中弘治、立石 勝、多月由佳、土肥三郎、坪井博行、塚本佳道、筒井慎一、筒井保太、柳本哲史、勇木 健	赤磐RC..... 幡山寛念、越宗公彦
笠岡RC..... 安藤 真、堀 泰典	岡山東RC..... 片山義久
笠岡東RC..... 新井善久、池田周二、池田 孝、石田官義、恵谷龍二、江原知之、江原公平、大嶋元義、岡辺賢二、岡原 稔、小川隆則、越智信子、金子洋方、工藤一郎、頃末謙治、頃末英克、榎原啓士、鈴木紘一、高田慎也、田淵純雄、田主智彦、土屋康文、長鋪方隆、中新 隆、原田俊三、福嶋啓祐、瀧野瑛木、牧野真樹、松田重雄、棕梨孝章、山本雅夫、吉岡孝恭、奥野千秋、佐藤林平	岡山北RC..... 安部 誠、青木俊也、竹馬和彦、橋田歳行、磯島芳樹、伊藤健志、岸本達也、鴻上光宣、松田次歳、大塚雅司、佐々木邦朗、下山宏昭、角南真一、高島 浩、高取 新、山本宣良、安原孝則、保本 謙、米林 真
	岡山備南RC..... 深田昭司、本郷 亮、貝原千鶴、黒川善和、光亦 登、坂川陽子
	岡山岡南RC..... 藤井將登、濱田誠二、猪木健二、近藤 連、森下雅人、森末英男、大高直二、齊藤仁昭、杉 妙子、高戸正勝、鷹取尚尚、豊田崇治、柚木康司
	岡山丸の内RC..... 東本純司、古川武志、飛岡 宏、井上俊夫、梶岡高佳、鴨東正雄、小林茂則、中原健視、西村篤志、延原寛紀、小川俊彦、小倉正之、岡本卓治、佐藤研治、隅田倫且、渡辺 誠

ポリオ・プラスへの寄付にご寄付いただいた方々

井原RC..... 青木 茂、千々木弘道、藤井弘道、藤井良昭、藤原英之、原 浩平、池田純士、石井祐輔、金原光広、片岡良仁、片山辰彦、川井雅樹、川井眞治、河合恭廣、北村博則、小塚一史、黒木立志、久津間茂明、宮地俊則、宮本幸枝、森本允裕、森谷 彰、長尾知之、中島武司、西野 昇、落合清三、小田春人、小田健司、岡崎道三、大西正隆、佐藤政夫、佐藤典子、佐藤利範、妹尾孝一、滝本 博、田中勝人、田中弘治、立石 勝、多月由佳、土肥三郎、坪井博行、塚本佳道、筒井慎一、筒井保太、柳本哲史、勇木 健

米山記念奨学会への寄付

クラブ特別寄付

松江しんじ湖RC..... 48,000円 (米山ランチ)
 笠岡RC..... 28,305円 (米山ランチ)
 笠岡東RC..... 25,200円 (米山ランチ)

クラブ普通寄付

備前RC..... 107,500円

特別寄付をいただいた方々

倉吉RC..... 明島淳吾、濱田由紀子、羽合浩次、日比邦彦、樋口壽一郎、樋口俊雄、日野節太郎、廣吉宗一、井戸垣激男、伊藤文利、岩世 毅、垣田堅二郎、亀井 理、笠見和則、小林健治、倉部 章、倉部祥行、牧原公夫、牧田侑紀、松田啓一、松田 隆、松尾邦太郎、森 和美、本内俊彦、村本晴一、永岡健治、西田龍之介、西谷純美、野島文夫、能登克浩、岡本博文、沖 礼、奥野寛應、大前拓也、大田佳典、齋木憲也、佐々木福一、佐武紀明、清水成真、菅原伸育、杉島篤美、水谷哲章、平 守、高木新一、高田久之助、田中祥貴、鳥飼高嗣、豊田 勲、津村徹夫、馬野慎一郎、若原道昭、山田健太郎、山田悌次、山本博文、山崎一彰、八島弘明、吉田圭子、吉田武章	児島RC..... 藤井昭佐、古市日利、古谷栄一、原 敏恭、橋本隆秀、出石啓治、片山多実雄、河合 浩、河合達朗、小出輝正、近藤敬直、三宅智也、難波恭一郎、西原清孝、岡本紀久雄、奥野公平、太田好宣、尾崎祐一、佐伯増垣、佐藤 靖、妹尾佳均、角南 晃、須藤洋一、州脇泰雄、田中勝次、谷口晋一、渡辺好政、山本 修、山本登三郎、横田正生
	岡山北西RC..... 川西熊雄
	岡山北RC..... 角南真一

出席報告 (2012年3月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	3月末	内女性 会 員	増減					7月1日	3月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	78.57	75.00	4	11	14	1	3	児 島	90.00	78.89	3	28	31	0	3	
	倉 吉	90.23	78.74	3	55	58	3	3	児 島 東	96.74	88.04	4	23	23	0	0	
	倉吉中央	78.26	63.04	4	23	22	2	-1	倉 敷	99.75	85.05	5	77	82	0	5	
	倉吉東	90.70	63.37	4	44	43	2	-1	倉敷中央	81.94	77.78	4	18	18	3	0	
	鳥 取	100.00	80.72	4	53	59	3	6	倉敷東	94.19	79.65	4	40	41	4	1	
	鳥取中央	84.94	80.72	4	41	42	0	1	倉敷南	95.98	63.07	5	66	64	5	-2	
	鳥取北	83.51	80.47	2	54	54	6	0	倉敷水島	79.82	77.06	4	31	31	0	0	
	鳥取西	84.38	72.77	4	53	55	0	2	倉敷瀬戸内	90.99	76.24	3	37	36	2	-1	
	計(8)	86.32	74.35		334	347	17	13	計(8)	91.18	78.22		320	326	14	6	
第2グループ	境 港	80.43	71.01	3	42	46	0	4	第8グループ	真 庭	93.68	74.74	3	34	33	0	-1
	米 子	80.56	60.32	4	62	64	2	2		美 作	90.00	87.76	3	35	36	1	1
	米子中央	88.82	79.41	5	33	34	1	1		津 山	69.77	67.27	5	88	89	3	1
	米子東	76.34	63.72	4	77	79	5	2		津山中央	84.38	80.21	4	26	26	3	0
	米子南	87.50	75.52	4	46	50	1	4		津山西	85.86	75.26	3	34	34	4	0
	計(5)	82.73	70.00		260	273	9	13		計(5)	84.74	77.05		217	218	11	1
第3グループ	松 江	90.33	77.32	4	68	68	0	0	第9グループ	赤 磐	74.60	61.90	3	20	21	0	1
	松江東	90.27	79.65	4	57	58	0	1		備 前	66.39	61.06	4	43	61	7	18
	松江南	89.36	81.82	3	68	60	4	-8		岡 山	86.15	67.44	4	105	111	0	6
	松江しんじ湖	91.41	77.27	3	63	65	9	2		岡山東	92.62	84.16	4	85	86	0	1
	隠岐西郷	76.32	57.89	3	26	27	0	1		岡山北西	87.24	73.47	4	49	52	4	3
	計(5)	87.54	74.79		282	278	13	-4		岡山後楽園	86.98	75.81	4	51	54	0	3
第4グループ	平 田	88.69	77.11	5	38	37	1	-1	第10グループ	計(6)	82.33	70.64		353	385	11	32
	出 雲	77.12	70.59	3	48	50	1	2		岡山旭川	81.73	72.12	4	25	26	1	1
	出雲中央	81.63	75.51	4	50	49	3	-1		岡山中央	81.61	74.40	5	45	45	5	1
	出雲南	96.61	87.55	4	59	59	6	0		岡山北	80.30	74.24	3	45	45	0	0
	大 社	78.57	65.00	4	42	43	1	1		岡山南	83.08	74.84	3	151	161	13	10
	計(5)	84.52	75.15		237	238	12	1		玉 野	85.29	77.65	5	32	34	0	2
第5グループ	江 津	76.79	74.11	4	26	28	0	2	第11グループ	牛 窓	95.24	95.24	3	7	7	0	0
	浜 田	87.56	77.78	4	52	57	1	5		計(6)	84.54	78.08		305	318	19	14
	益 田	95.65	80.53	5	24	23	2	-1		岡山備南	79.51	75.41	4	35	36	4	1
	益田西	90.32	65.29	4	30	31	1	1		岡 山 城	94.94	93.67	3	27	27	4	0
	大 田	93.64	87.04	5	26	24	3	-2		岡山岡南	86.67	73.03	3	30	30	3	0
	計(5)	88.79	76.95		158	163	7	5		岡山丸の内	85.48	71.77	4	32	32	2	0
第6グループ	井 原	82.18	78.16	4	46	47	3	1	地区 クラブ 内の 状況	岡山西南	81.11	70.00	5	64	56	3	-8
	笠 岡	95.38	89.23	3	50	51	0	1		計(6)	85.68	76.07		261	254	22	-7
	笠岡東	90.59	85.15	5	42	41	1	-1		クラブ数	67RC						
	新 見	80.87	75.65	5	16	23	1	7		7月1日現在会員数	3,027名						
	総 社	83.89	69.89	5	37	39	7	2		3月末日会員数	3,111名						
	総社吉備路	87.38	84.00	3	35	36	3	1		内 女性会員数	154名						
	高 梁	82.44	75.57	3	44	44	3	0		純増	85名						
	玉 島	90.43	88.70	4	30	30	1	0		3月出席率	Make-up後	86.12%					
計(8)	86.65	80.79		300	311	19	11	ホームクラブ	75.90%								

国際ロータリー第2690地区
2011-2012年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー
伊藤 文利

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp